

「長谷川流鍼灸メソッド治療体験と理論」

「講演内容」

一人 15 分くらいの治療を通して長谷川流鍼灸メソッドで診る

身体の反応の意味や理論を随時説明

見るだけより、実際に治療体験版の講義です

治療希望者を 10 人まで先着順に募集

講師プロフィール

長谷川流鍼灸メソッド創始者 鍼灸師 長谷川吾朗 (はせがわ ごろう)



講師経歴

長谷川流鍼灸メソッド代表／長谷川鍼灸院院長／国際臨床鍼灸研究会代表／鍼灸治療歴 41 年、講師歴 26 年
2000 年から 18 年間、長野式臨床研究会で副代表・講師。「医道の日本」誌等に多くの論文を執筆。

2019 年、ドイツ在住の池田信雄東京大学名誉教授の助言を受けて独立し、「長谷川流鍼灸メソッド」を確立。
同年よりセミナーを主催。

身体に刺入しない「転鍼」、「引き鍼」などの革新的な鍼技術を開発したほか、患者が自宅で施灸を行えるよう工夫した灸の補助具「灸ピン」を発明・販売。

2026 年 3 月より長谷川流鍼灸メソッド「1day セミナー」「基本セミナー」「実践セミナー」開催中。

2026 年 5 月 31 日「全日本鍼灸学会」から実技講演依頼を受け「長谷川流鍼灸メソッド実技セッション」。

2026 年 10 月 14 日-18 日ドイツ人医師を岐阜に招いて 5 日間講演。

2027 年 5 月 DÄGfA（ドイツ医師会）総会 3 日間、AGTCM(伝統中医連合会)総会 2 日間のドイツ講演決定。

「長谷川流鍼灸メソッドマニュアル」日本語版、ドイツ語版の年内出版に向けて準備中。

「長谷川流鍼灸メソッド」

古典理論に基づく長谷川流鍼灸メソッドは、精確な診断と刺激量を最小に絞る鍼灸療法により、驚くべき治療効果を発揮する。治療は以下の 3 つのステップで行われるが、その各段階に最適の手技が用意されている。

1. 診断：問診後、脈状診、脈差診、四肢診、体幹診で身体の異常を見極め、独自のカルテに記入。
2. 鍼治療と施灸：カルテを勘案し精選した少数のツボに刺激量を最小限に絞った刺鍼、転鍼、引き鍼、灸を施す。
3. セルフ灸：治療効果を持続させるため、患者に毎日自宅で施灸を行うよう指導。

長谷川吾朗の電子名刺

